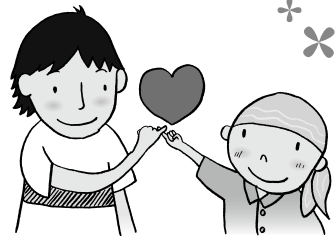


GIFT



特定非営利活動法人骨髄バンクサポート新潟 ニュースレター Vol. 20 (2015年6月発行)

「骨髄バンク

読書感想文コンクール」開催

新潟県内の小中学生に、骨髄移植によってたくさんの命が助かっていること、たくさんの患者さんがこの治療を望んでいること、そのために骨髄バンクがあることを知ってもらおうと、この度『骨髄バンク読書感想文コンクール』を開催します。課題図書を読んで、命について感じたこと、骨髄バンクについて思うことを感想文にしてご応募下さい。たくさんのご応募お待ちしております。

課題図書

○「いのちのあさがお」綾野まさる

白血病のため7歳でこの世を去った光祐君が死の直前まで育てていた朝顔。母親のまみこさんは悲しみから立ち上がり、骨髄バンク普及のため光祐君の朝顔の種を普及していくお話です。そして命のあさがお運動として全国に輪が広がっていきました。



○「アニメ絵本金色のクジラ」岸川悦子

とつぜん、白血病になった弟のいのちを救うために、小学3年生の兄が自分の骨髄を提供する愛のお話です。命の尊さをやさしく語りかけています。



○「チャーリー・ブラウンなぜなんだい？ ～ともだちがおもい病気になったとき～」

チャールズ・M・シュルツ

ジャニスとは白血病の女の子です。治療のため学校へ行けなくなってしまいます。やっと行けるようになった学校ではいじめられてしまいます。でも、心優しいライナスはいじめっ子に対しているるなおもいがあふれてきて……。



○「春ちゃんは元気です」松田のぶお

一度目の移植を乗り越え、再発してからもニコニコ笑顔で過ごしている春ちゃんは、これから移植を受ける病院のお友達や家族にとって明るい希望の光になっていました。(本文より) 4歳で白血病になった少女の実話をベースに、少女の父親があたたかみのあるイラストとやさしい文章で、病気を乗り越えるまでのお話です。



○「明日がいっぱい集まったなら… ～まりんからの贈り物～」ごとう和

最愛の娘まりんが突然白血病に…。小さなからだで戦い続けるまりんの明日を守りたいと家族や医師の懸命な愛といのちの物語。そして、命のリレーとなる骨髄バンク設立へのあさがお運動として全国に輪が広がっていきました。

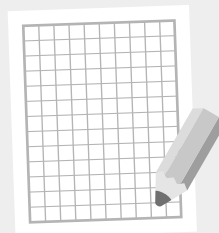


【対象】

新潟県内の小学生、中学生。
1,200字以内、締切9月18日。

【表彰・副賞】

特別賞5点(副賞:図書券3000円)
優秀賞10点(図書券1000円)
応募者全員に参加賞



第7回通常総会のご報告

平成27年4月29日(祝日)上越市市民プラザにて第7回通常総会が行われ、平成26年度事業報告、決算報告、平成27年度事業計画、予算について承認されました。

◆平成26年度収支決算報告

| 【経常収益】 | | 【経常費用】 | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 会費収入 | 238,000 | 1、事業費 | |
| 寄付収入 | 1,182,350 | 人件費 | 483,000 |
| 助成金 | 55,000 | その他の経費 | 406,374 |
| 事業収入 | 160,770 | 計 | 889,374 |
| その他の収益 | 8,331 | 2、管理費 | 626,094 |
| 合計 | 1,644,451 | 合計 | 1,515,468 |

《当期繰越金》1,644,451 - 1,515,468 = 128,983

《次期繰越金》前期繰越金額1,522,913 + 当期繰越金額128,983 = 1,651,896

◆平成27年度事業計画 *は新規事業です。

- 関係機関との連携事業
 - ・ドナー募集事業(集団休日登録会)
 - ・ドナー募集事業(献血並行登録)
 - ・語り部事業
- 骨髄提供しやすい環境づくり事業
 - *ドナー休暇制度推進事業
 - ・ドナー登録説明会
- その他付随する事業
 - ・チャリティーバザー事業
 - ・チャリティーゴルフ事業
 - ・イエローシート呼びかけ
- 患者とその家族に対する支援事業
 - ・患者とその家族向け医療講演会
 - ・タオルハンカチ贈呈事業
 - *患者支援情報誌製作事業
- 普及啓発事業
 - *骨髄バンク読書感想文コンクール事業
 - ・会報誌製作発送事業
 - ・骨髄バンクに関する学習会
 - ・模擬ドナー登録会
 - ・ホームページ
 - ・各種イベントでの普及啓発

今年もやります!!

●チャリティーゴルフ開催

今年もチャリティーゴルフコンペを行います。日程は10月3日(土)、会場は昨年度同様に柏崎石地シーサイドカントリークラブです。多くの方のご参加をお待ちしています。ゴルフをされている方はもちろん、ゴルフが好きな方にも声をかけて下さい。また会場には当法人の寄付付き自動販売機が設置されています。是非お買い求め下さいね。



お知らせ

●月刊キャレル6月号に骨髄バンクの特集が載っています

誰かのためにできること 骨髄バンクのドナー登録。「あなたはする?それともしない?」ドナー登録について、どうして必要なのか、どこへ行ったら登録出来るのか等とても詳しく説明されています。お近くの書店にて手にとってみてください。

●ACジャパンの公共広告7月から復活

1年間中断していましたが、7月から復活します。新CMには、平成18年6月にドナー登録をされた上原浩投投手が登場します。上原投手は当法人に毎年寄付を下って、応援して頂いております。楽しみですね。

●骨髄バンク推進全国大会

2015年9月12日高知市高新RKCホールにて開催されます。新潟県からは遠いですが、高知のボランティアの方の活動を見て来たいものです。

ドナー体験記



山川 高士

ドナー登録から、1年ほど経ち、登録のことを忘れた頃に届いた1通の黄色い封筒。その時から、私のドナーとしての日々が始まりました。

実際のところ、手紙を見たそのときから、ほとんど気持ちは決まっていたのですが、最終同意の日まで、ドナーとしての小さなリスク、これについて迷いもありました。

今回、1度、骨髄提供したらドナー登録は抹消しよう、この覚悟で最終同意で意思を決めた後、あっという間にやってきた入院の日、そして手術の時。術前から最も不安だった、全身麻酔。なるべく意識を保っていようと思いましたが、麻酔の効果は素晴らしく、あっという間に意識を失ってしまいました。手術の間、全く記憶はありませんが、起こされたときは夢を見ていました。それも楽しい夢を見ている間に手術は行われていたようです。

手術後は、採取部の腰に痛みがありましたが、やるんじゃなかった、と思わせるほどの痛みではなく、骨髄提供を確かに行ったという、手術の記憶がない私にその実感を感じさせてくれる唯一といってもいい負担でした。

月日が経って骨髄移植を実感させてくれた痛みも全くなかった今、骨髄提供について考え、実体験したことが幻のようにも思えます。

しかし、骨髄提供に際し、患者のリスクに比べればはるかに小さなリスク、その小さなリスクを契機に、人の生死、自分のすべきこと、できること。じっくり考えられた時間は、自分にとって非常に貴重な時間でした。

骨髄提供は、あくまで患者さんの治療の為に行われるものだと思いますが、ドナーにとっても得るものが大きいと感じています。

コーディネーターさんの話によると、骨髄提供を2度しているドナーの方は思いのほか多いようです。私にも2度目のチャンスが来るのではないかと、淡い期待とともに体調管理に努めています。

◆新潟県福祉保健部 新骨髄バンク担当者より

新潟県福祉保健部健康対策課 野崎 愛

皆様、はじめまして。4月から健康対策課母子保健係から難病等対策係になりました野崎と申します。ドナー登録会にご協力をいただき、ありがとうございます。

私は、健康対策課の前は、上越、佐渡保健所に在籍し、佐渡では骨髄バンク登録会に従事しておりました。平成27年度の献血併行型登録会は県内約30か所で開催する予定です。皆様からご協力をいただきながら、1人でも多くの方から登録いただけるように頑張りますので、よろしく願いいたします。

◆活動報告

👑 ラジオ出演しました

5月28日(木)12:15～FM新潟「HELLO JOETSU」に、団体のPRと読書感想文コンクールPRのため、理事長 斉木桂子が生放送に出演しました。

☺ 患者と患者家族会

3月7日(土)新潟県立中央病院2階講堂を会場にナースとドクターにも参加してもらい行いました。ご夫婦でまた親子で、お一人でと参加して頂き、みなさんお一人一人からお話を聞くことが出来ました。みなさん相手を思いやっていることがとても素晴らしいと感じました。アンケートでもまたやってほしいという意見を頂きましたので、次回も色々なお話が出来て、笑顔で帰って頂けると嬉しいです。

小林 昌美



☺ 骨髄バンクに関する学習会

4月29日(水・祝)に行われました総会終了後、骨髄バンクに関する学習会に参加させて頂きました。

「患者会立ち上げにあたって」との内容で看護師の大瀧恵さんよりお話を聴かせて頂きました。患者会と立ち上げるきっかけは、患者さんからの「同じ病気の人はいませんか？」という声に応えたいとの思いで、方法を模索し始めたとなりました。病気がわかり、治療や治療費、自分自身のこれからはどうなるんだろうと不安でいっぱいな心情に対し、具体的に向き合うことを考え、行動した結果に立ち上がった会と知りました。医師による医療、治療という面と患者会という場での、直接的に患者さん同士で話をする事が出来ることでより安心感や希望を持つことが出来る面が生まれ、闘病に前向きになるサポートの場があると感じました。「何かしたいと看護師は誰でも思っています。」との大滝さんの看護の同苦の心に、心強く感銘し、そして、沢山の御苦勞の末に立ち上がった患者会に対し「すごく大きな一歩」との言葉が印象的でした。この会が患者さんとそのご家族の方にも力強い励ましになる事を願いつつ、今後も活動に励んでいきます。

石井 智子

👑 えちごゆざわ花まつりでの説明会

4月29日(水・祝)、南魚沼郡湯沢町の湯沢中央公園で「第23回花まつり・ゆざわ」が開催されました。春の訪れを楽しみ、イベントブースやお茶会、公園の自然を楽しむなど、多くのお客様でにぎわったこのイベントに、湯沢ライオンズクラブの皆様とともに骨髄バンクの説明会とPRをおこないました。水ふうせんを吊り上げる体験には、おおくのお子さんが楽しく参加されました。また骨髄バンクに関するクイズ(採血量や血液型は変わる事など)を来場された方に参加いただいて、敷居が高く思われがちな骨髄バンクについて、興味を持っていただくよい機会になりました。

☺ イエローレシート呼びかけ

2月11日(水・祝)イオン上越店にて呼びかけを行ってきました。声をかけるには勇気がいりますが、より多くの方に黄色いレシートのことを知ってもらい、当法人のボックスに投函してもらいたい一心で頑張りました。毎月11日にはイオンでお買い物をして、黄色いレシートを投函ください。

☺ 最後の献血並行登録

3月27日(金)に十日町市役所にて平成26年度最後の献血並行登録に行ってきました。南魚沼保険所の担当者の方が事前に色々な方面をお願いして下さったおかげで11名の方に登録をして頂きました。特にエフエム十日町の佐藤宏樹さんが取材を兼ねて登録してくれました。

平成27年度も多くの方に登録してもらいたいです。

全国協議会設立25周年「骨髄バンクのキャラバンカー」が日本縦断中!!

4月24日に沖縄の那覇を出発したキャラバンカーが6月15日新潟県入りをします。

県庁と新潟県赤十字血液センターに表敬訪問します。血液センターにて当法人理事の曾山尚幸さんが書道パフォーマンスをさせていただきます。曾山さんは元患者さんで今は世界を飛び回って個展を開いています。詳細は、まだわかりませんが、とても楽しみです。

キャラバンカーブログ <http://ameblo.jp/jmdrpc-25/>

◆平成27年度献血並行登録会6月の予定

※6月より万代ゆとりろ・千秋献血ルームにて日曜日でもドナー登録もできます。

- ◆6月1日(月) 9:30~11:00 阿賀町役場上川支所 13:30~15:00 阿賀町役場鹿瀬支所
- ◆6月3日(水) 9:30~11:20 12:50~15:00 (株)リケン柏崎事務所
- ◆6月11日(木) 9:30~11:00 13:00~15:00 新潟原動機(株)新潟ガスタービン工場
- ◆6月14日(日) 10:00~11:15 13:00~15:30 イオン県央店~休日登録会~
- ◆6月15日(月) 9:30~11:00 西蒲区役所 ~新潟市担当~
- ◆6月17日(水) 10:00~11:15 JAえちご上越
- ◆6月21日(日) 9:30~11:00 13:00~15:00 瓢湖湖畔あやめ祭り~休日登録会~
- ◆6月25日(木) 10:00~11:30 13:15~15:00 糸魚川市役所
- ◆6月29日(月) 10:00~11:30 13:00~15:30 新光電気工業(株)



まごころからのご寄付をありがとうございました

(平成26年9月14日~平成27年5月10日)

- 高橋久子様 ○川村留美子様 ○笹川直子様 ○上原浩治様 ○塚田俊幸様
- 金井芳子様 ○中村由美子様 ○信楽園病院様 ○岩元歩子様 ○川上春子様
- (株)平林塗装様 ○剣持賢一郎様 ○小椋明美様 ○畔上義弘様 ○岩崎由香子様
- 小林澄江様 ○(有)双葉自動車様 ○えちごゆざわ花まつり会場募金
- イオン上越店黄色いレシートキャンペーン ○新潟県骨髄バンク連絡会(ダイドードリンコ寄付付き自動販売機)
- 中部ペプシコーラ販売(株)様(寄付付き自動販売機)
- 三国コカ・コーラボトリング(株)様(寄付付き自動販売機)

*上原浩治投手からは、毎年多額のご寄付を頂いております。まだまだ現役で頑張っている上原さんに応援頂ける事に感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ記録を伸ばしてもらいたいと願っています。

◆ご寄付のお願い—当法人の活動は皆様方の善意に支えられています。ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。◆

- 銀行口座 新潟県労働金庫 高田支店 普通 5485124
- 郵便振替口座 00500-5-97142

◆日本骨髄バンクの現状(平成27年4月末現在)

| | 全国 | 新潟 | ●年齢別登録書数(現在数) | |
|---------|---------------|---------|---------------|----------|
| | | | 10代 | 20代 |
| ドナー登録者数 | 451,085(+488) | 24(+5) | 2,320人 | 70,968人 |
| 患者登録者数 | 2,866(+108) | 261(+2) | 144,977人 | 183,609人 |
| 移植例数 | 18,160(+97) | 255(+2) | 49,211人 | |

* ()は3月末との増減です。

* 4月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:103件

◆NPO法人 骨髄バンクサポート新潟 入会のご案内

| 正会員 | | 賛助会員 | |
|---------------------------------|-----------|--------------------------|-----------|
| 個人一口 | 2,000円より | 個人一口 | 2,000円より |
| 団体一口 | 10,000円より | 団体一口 | 10,000円より |
| ボランティア活動を一緒にして下さる方 総会での議決権あり | | 資金援助をして下さる方 総会での議決権なし | |

骨髄バンクへのお問い合わせ ☎ 0120-445-445 日本骨髄バンク

特定非営利活動法人 骨髄バンクサポート新潟

HP <http://kbsniigata.com>

〒943-0805 上越市木田2-3-11-5 電話 025-546-7337

FAX 025-546-7338 Mail kbsniigata@gmail.com

